

SUGIYAMA

Sugiyamajushi kogyou

42期（2022年9月～2023年8月）

発行日：2023年11月30日

Environmental Management Report

(有)杉山樹脂工業

Menu

- ① 組織の概要
- ② 対象範囲
- ③ 環境経営方針
- ④ エコアクション21組織図
- ⑤ 環境経営目標・環境経営目標の実績及び評価
- ⑥ 環境経営計画・取組内容・結果及び評価、次年度の計画
- ⑦ 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無
- ⑧ 代表者による全体評価と見直し・指示

①組織の概要

事業所名及び代表者氏名

(有)杉山樹脂工業

代表取締役 杉山 周三

所在地

〒355-0165埼玉県比企郡吉見町上細谷147

TEL:0493-54-2759 FAX:0493-54-1900

Eメール:sugiyama-h@nifty.ne.jp

環境管理責任者氏名及び担当責任者

環境管理責任者

杉山周三

事務局 専務取締役

杉山弘美

事業内容

プラスチック射出成形製品の設計・開発・製造

事業の規模

	本社・工場・倉庫
従業員数	36名
延床面積	921.71 m ²

②対象範囲

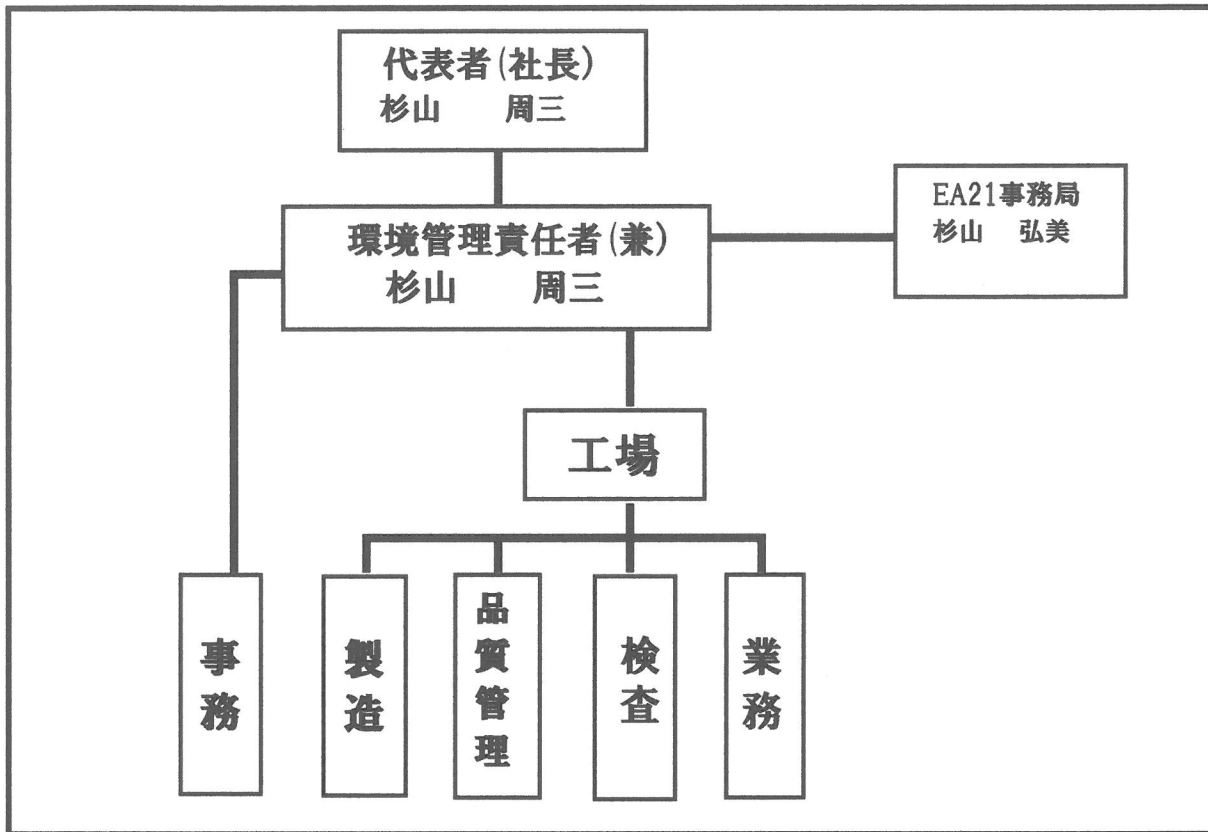
登録組織名 : 有限会社 杉山樹脂工業

対象事業所 : 【本社・工場】〒355-0165

埼玉県比企郡吉見町上細谷147

有限会社杉山樹脂工業

エコアクション21組織図



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・経営における課題とチャンス明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な設備・費用・時間・人・情報を用意 ・環境管理責任者を任命 ・代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムを構築・運用する(代表者からEA21の権限を委任) ・実施体制の構築(組織図及び役割・責任・権限) ・環境活動の取り組み結果を代表者へ報告
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標・環境経営実施計画書/実績表の作成 ・教育・訓練の実施を指示 ・環境上の緊急事態への準備・対応 ・環境経営レポート作成 ・環境活動の取り組み結果を代表者へ報告 ・EA21の維持(環境管理責任者の指示を受けて) ・環境への負荷及び取組チェック実施 ・環境関連法規等の取りまとめ表作成と遵守評価実施 ・環境関連文書・記録の管理 ・外部環境情報の窓口 ・環境経営目標及び環境経営計画の実施・確認・評価、達成状況の報告 ・環境活動におけるチェックリストの記録・運用管理 ・問題点の是正・予防処置実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針を理解し、環境へ取り組みの重要性を自覚 ・EA21で決められた各自の役割を実施

③環境経営方針

【環境理念】

(有)杉山樹脂工業は、プラスチック射出成型の事業活動において、今日の地球環境問題の現実を強く認識し、限りある資源を大切に活用し、会社全体で、環境負荷の低減を図り、自主的・積極的に継続して環境保全活動に取り組みます。

【基本方針】

- 1.環境関連法規制その他の要求事項を遵守し、
環境保護活動の向上に努めます。
- 2.省エネにより、CO₂削減を目指します。
- 3.廃棄物排出量の削減、節水、リサイクルを徹底します。
- 4.. 環境対応製品（軽油車の燃費向上)に努めます
5. 会社周辺の清掃活動に取り組みます。
- 6.従業員全員に周知します。
7. 環境経営の継続的改善に努めます

2022年9月30日

有限会社 杉山樹脂工業

代表取締役 杉山 周三

④環境経営目標・環境経営目標の実績及び評価

中期目標(3年間固定)

	40期 2020/9～2021/8 基準年	41期 2021/9～2022/8	42期 2022/9～2023/8	43期 2023/9～2024/8
1. 二酸化炭素排出量削減				
・電気 kWh/kg-CO2	661,137/381,476	1%削減	1%削減	3%増
・ガソリン L/kg-CO2	2,562/5,944	2%削減	2%削減	2%削減
・軽油 L/kg-CO2	9,951/25,673	1%削減	1%削減	1%削減
・CO2合計 kg-CO2	413,093			
2. 廃棄物排出量削減				
・一般 (t)	3,795	1%削減	1%削減	1%削減
・産業 (t)	18,280	1%削減	1%削減	1%削減
3. 総排水量削減 (m ³)	736	1%削減	1%削減	3%増
4. 環境対応製品 (軽油車の燃費向上)	-	-	データ一取	1%削減

※化学物質は使用していない。※電力のCO2排出係数は、0.417kg-CO2/kWh(R5年公表、R3年実績)

※43期 電気及び総排水量は設備増強に伴い、基準年度比3%増とします。

42期運用結果(2022年9月～2023年8月)

	基準年度 (40期)	42期目標	42期実績	達成 状況
1. 二酸化炭素排出量削減				
・電気 kWh/kg-CO2	661,137/275,694	657,041/273,986	689,885/287,682	×
・ガソリン L/kg-CO2	2,562/5,944	2,511/5,389	1,939/4,141	○
・軽油 L/kg-CO2	9,951/25,673	9,851/25,416	8,839/12,166	○
・CO2合計 kg-CO2	307,311	304,791	303,988	○
2. 廃棄物排出量削減				
・一般 (t)	3,795	3,757	3,541	○
・産業(基準年39期) (t)	18,280	18,097	7,250	○
3. 総排水量削減 (m ³)	736	729	823	×
4. 環境対応製品 (軽油車の燃費向上)	-	-	データ一取	○

⑤環境経営計画・取組内容・結果及び評価、次年度の計画

環境経営計画	取組内容・結果・評価	次年度の計画
二酸化炭素排出量削減 (電気) ①全LEDの為、ON/OFFの頻度を減らす。 ②計量器(製品測定)は朝9時～夜5時使用。(使用していないときはスイッチオフにする) ③PC帰宅時、オフにする。	①長期不使用の時は100%OFF ②計量器のスイッチオフ実施は100%(製品測定) ③PCオフの実施は100%	継続して実施する。
二酸化炭素排出量削減 (軽油)(ガソリン) ①効率的なルートで配送 ②エリア別営業活動の見直し ③アイドリングストップ ④急加速・急停車の防止	①効率的なルートで配送できた。 ②見直し実施出来た。 ③アイドリングストップ実施出来た。 ④急加速・急停止防止実施100%	継続して実施する。
廃棄物排出量削減 ①分別の徹底 ②裏面利用	①分別のゴミ箱を多めに配置した。 ②維持できている。	継続して実施する。
プラスチック廃棄物の削減 ①製造ロスの削減 ②リサイクル化	①②医療分野の製品が多くなっているが、それに伴い「医療系廃棄物」も多くなっている。これは再利用できない為、今後もプラスチック廃棄物は増える	継続して実施する。
総排水量の削減 ①節水シールの貼り付けとポスター等掲示	①節水シールポスター等、貼り付けた。	継続して実施する。
環境対応商品販売 ①環境対応商品 ②環境配慮対応	①軽油車の燃費のデータ取り	配送車の燃費向上 43期より1%削減

⑥環境関連法規等の遵守の確認・評価の結果並びに違反、訴訟の有無

①対象環境関連法規

環境関連法規等	適応される事項 (事業活動、施設、物質等)	遵守の確認・評価	
フロン排出抑制法	業務用エアコン	簡易点検記録	OK
騒音・振動規制法	合成樹脂用射出成型機	設置届出	OK
廃棄物処理法	一般廃棄物/産業廃棄物	分別の徹底	OK
埼玉県条例	アイドリング	駐停車時状態	OK

②違反・訴訟等

環境関連の違反・訴訟等は過去3年間ありません。

なお、関係当局より違反等の指摘は、過去ありません。

⑦代表者による全体評価と見直し・指示

電気の使用量増加は、近年の異常気象により夏場の工場内環境を向上する為、大型エアコンを2台増設した事もあるが、省エネタイプのコンプレッサーの入れ替えによると思われる2023.6以降は、若干ではあるが使用量が減少してきた。今後も設備を省エネタイプに変えていき 従業員1人1人が節電を常に心がけて作業するよう周知した。ガソリンの使用量は、目標に達成できたが、遠方の客先の注文の増加により、軽油車の使用量が増加した。毎回、適切なルートなど見直す。プラスチック廃棄物の使用量については、目標が達成できた。製造ロスの削減に取り組むことを継続する。水の使用量の増加は、水道パイプの劣化の為、水漏れしていたので、業者に修理依頼した。水道パイプの定期点検する。節水を意識し取り組む。派遣従業員が3名増加したことも増加に繋がっている。

環境経営方針、環境経営目標及び環境経営計画、実施体制は次年度も継続して活動します。環境経営目標に対しては、一部見直す事。